

区立施設マネジメント計画に関する ワークショップ

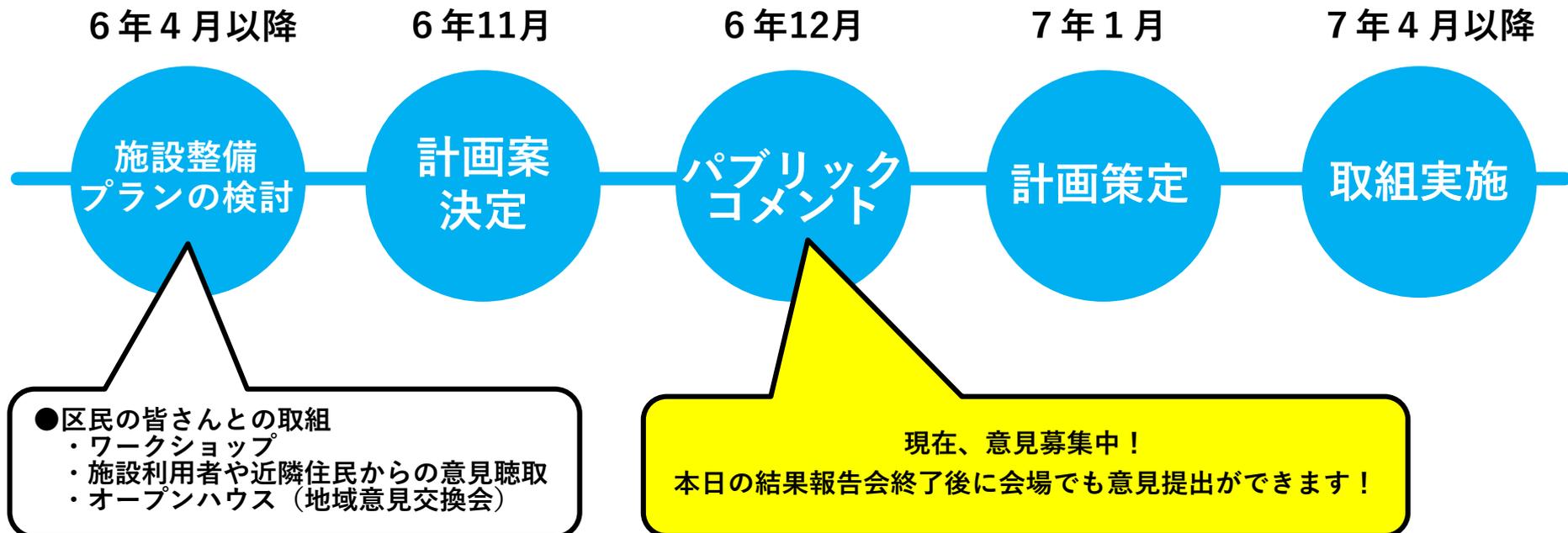
～旧上荻窪会議室等の跡地活用と周辺施設の検討(結果報告会)～

令和6年12月7日(土)
杉並区政策経営部企画課
施設マネジメント担当

現在の状況

ワークショップに参加された皆さんと一緒に検討してきた内容や8月に実施した地域意見交換会、施設利用者や関係団体等からいただいた意見を踏まえ、**区が計画案を作成しました。**

現在は作成した計画案に対する**意見募集(パブリックコメント)を実施(12月3日~1月6日)**しており、意見募集後には、いただいた意見に基づき修正が必要か精査を行った上で、最終的には**1月末に計画を決定**します。



本日(結果報告会)のプログラム

時間(予定)	内容
14:00~14:10	本日のプログラムの説明等
14:10~14:40	区からの説明 ○ 決定したプランの内容と決定する際のポイント ○ プランの決定に当たって重視したポイント ○ プランを決定する際の考え方
14:40~15:00	意見交換 ○プランの内容やプランを決定する際の考え方に対する意見、疑問点等
15:00~15:05	区からのあいさつ

※時間は会の進捗により変更となる場合があります。

区からの説明

- 決定したプランの内容と決定する際のポイント
- プランの決定に当たって重視したポイント
- プランを決定する際の考え方

決定したプランの内容と決定する際のポイント

プランの
イメージ
(更新後)



【プランの内容(プラン①)】

①旧上荻窪会議室等跡地には集会施設(コミュニティふらっと)を整備します(新たな施設は令和10年度に開設予定)。

②西荻北保育園は現地改築します。改築は現在の在園児の卒園後を予定しています(最短で令和11年度以降に解体予定)。

改築工事期間中の仮設園舎は西荻南区民集会所(旧西荻北児童館)の敷地を活用します。ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保するため、保育園にゆうゆう館を併設します。

③ケア24上荻は杉並会館で運営を継続します。

■プランを決定する上でのポイント

○ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保すること

○西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館の改築工事期間中における、ゆうゆう上荻窪館・西荻北館、旧上荻窪会議室利用者の活動機会を確保すること

○保育園の改築に当たり、園舎や園庭の必要面積を確保するとともに、園児・保護者への影響を考慮して移転時期を設定するなど、保育環境の維持・向上を図ること

○ケア24上荻を管轄地域内で利便性が低下しない場所に配置すること

今後のスケジュール(予定)

用地	現在	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度	令和14 (2032) 年度
A	旧上荻窪 会議室等	●————→ 基本設計・実施設計		●————→ 建築工事	(仮称)コミュニティふらっと上荻窪開設				
B	西荻北保育園	現施設で運営					仮設園舎に移転		
	ゆうゆう 西荻北館	●————→ 解体・基本・実施設計			●————→ 解体工事	●————→ 新園舎等工事	新園舎開設		
C	ゆうゆう 上荻窪館	現施設で運営					(仮称)コミュニティふらっと 上荻窪等を代替施設として活用		
	ケア24上荻	●————→ 解体・基本・実施設計			●————→ 解体工事	●————→ 新園舎等工事	新ゆうゆう館開設		
C	ゆうゆう 上荻窪館	現施設(杉並会館)で運営					(仮称)コミュニティふらっと上荻窪に機能継承		
	ケア24上荻	当面、現施設(杉並会館)で運営 ※ケア24上荻の移転については、(仮称)コミュニティふらっと上荻窪の利用状況等を踏まえて別途検討							

■ …今年度実施する計画の一部修正に反映

※西荻北保育園・ゆうゆう西荻北館は令和11年度に解体する場合のスケジュール。
 ※スケジュールは、現時点における予定であり、今後の情勢等によって変更となる場合があります。6

プランの決定に当たって重視したポイント

地域の実情に応じた解決策

区民ニーズはもとより、施設の設置状況・利用人数、利用者の利便性、施設を建て替えた場合の課題など、施設を取り巻くさまざまな状況やこの間聴取してきた区民意見などを踏まえながら、地域の実情に応じた解決策を検討しました。

誰もが使いやすい施設づくり

施設利用者・地域住民の視点を踏まえつつ、将来世代のニーズも考慮しながら、地域・区全体を俯瞰して、施設の配置のあり方を考えました。
また、複合化・併設について、施設の相性や期待される相乗効果などから検討しました。

必要な機能・環境の確保

保育園におけるバリアフリー対応、学校における多目的室の確保など、保育・学校教育環境をはじめ、図書館・さざんかステップアップ教室・ケア24などの各施設に必要な機能・環境を確保していきます。

さらなる高齢化の進展を見据えた 集会施設の整備

コミュニティふらっと・ゆうゆう館の双方が、多世代交流を含むさまざまな活動の機会を提供するとともに、より多くの高齢者にとって利用しやすい施設となるよう、高齢者団体優先枠の見直しなどを検討・具体化します。

プランを決定する際の考え方

■ゆうゆう西荻北館及び西荻北保育園について①

○ゆうゆう西荻北館は、駅から近いこともあり日中の利用率が高く、他のゆうゆう館と比較すると夜間の利用率も高い施設です。加えて、**区の西側(善福寺・松庵方面)からの利用者が一定程度おり**、区立施設再編整備計画で計画化していたプラン(ゆうゆう西荻北館を旧上荻窪会議室等跡地に整備するコミュニティふらっとに機能継承する計画)に対しては、当時、**ゆうゆう西荻北館の利用者を中心に、「距離が遠いので活動を継続できない」、「狭くても良いので今の場所に残して欲しい」という声をいただいていた**。また、今回、ワークショップ参加者にも両施設間を実際に歩いてもらいましたが、**高齢者以外の方からも「距離が遠く、途中で坂道もあり、高齢者が通うのは大変ではないか」などの声をいただきました。**

○西荻北保育園は、改築に当たり、バリアフリーに配慮した設備や、障害児保育のための諸室等を整備する必要があることから、**延床面積は現在よりも増加**することとなりますが、現在の敷地内に建てられる建物の大きさを再精査したところ、保育施設に求められる基準を満たした上で、**現在の面積からは小さくなるものの200㎡程度の集会施設の面積であれば確保できる**ことがわかりました。また、**集会施設を地下に整備**することで、保育園の園庭も現状と同等規模を確保できることも確認できました。

プランを決定する際の考え方

■ゆうゆう西荻北館及び西荻北保育園について②

○加えて、ワークショップ参加者やゆうゆう西荻北館利用者からは、周辺の区立施設を活用したゆうゆう館の移転先の確保が難しいことや旧上荻窪会議室等跡地に移転した場合の移動距離の問題を考慮すると、**保育園に集会施設を併設した方が良いという意見もいただきました。**また、民間施設の借上げやバスの導入などのアイデアもいただきましたが、**現時点では、不確実性もあり、実効性の担保ができない状況**です。

○これらを踏まえ、ゆうゆう西荻北館利用者の活動機会を確保する観点から、**西荻北保育園に集会施設を併設することとします。**

○この集会施設については、現在のゆうゆう館よりも規模が小さく、部屋数も減ること、ラウンジや多目的室などを整備することは困難であること、**現在も高齢者の利用率が高く、整備後も高齢者中心の利用になると見込まれることから、ゆうゆう館として存置することとします。**

○なお、西荻北保育園は改築工事期間中も運営を継続するため、西荻南区民集会所（旧西荻北児童館）の用地に仮設園舎を整備し、仮移転することを想定していますが、改築時期（解体含む）については、現在の在園児とその保護者への影響を考慮し、**最短で令和11年度（2029年度）以降を予定**しています。

プランを決定する際の考え方

■旧上荻窪会議室等跡地に整備する施設について①

○旧上荻窪会議室等跡地には、**集会施設を整備**し、現在、杉並会館内で暫定運営をしているゆうゆう上荻窪館や旧上荻窪会議室の利用者の活動機会を確保することとなりますが、ゆうゆう西荻北館改築工事期間中は、その利用者の活動機会も確保する必要があることから、**集会施設の部屋数や部屋の面積を充実させる必要があります。**

○ワークショップ参加者からは、多世代が利用できるコミュニティふらっとの整備を求める多くの意見のほか、「ゆうゆう館は高齢者施設としての印象が強く、コミュニティふらっとと比較すると、子どもを含めた多世代が利用できる施設として浸透しづらいのではないか」との意見もいただきました。また、当該地域の現状を踏まえ、子どもが気軽に利用できる居場所の整備を望む声もいただきました。一方で、高齢者が今までどおり利用できるよう配慮して欲しい、慣れ親しんだゆうゆう館として残して欲しいという意見もいただきました。

プランを決定する際の考え方

■旧上荻窪会議室等跡地に整備する施設について②

○この集会施設については、延床面積約600㎡を想定しており、ラウンジや多目的室を整備できる見込みです。施設全体を「ゆうゆう館」とすることや、「ゆうゆう館と他の集会施設の併設施設」として整備することも可能ですが、旧上荻窪会議室は幅広い世代が利用できる集会施設であったこと、コミュニティふらっとは、多目的室等を活用したイベント(多世代交流イベント等)などの実施や、乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、より多世代が気軽に利用できる施設であることから、**施設の規模や施設に求められる機能、地域の現状などを踏まえ、「コミュニティふらっと」として整備することとします。**

○なお、コミュニティふらっとでは、高齢者団体優先枠の設定を通じて、既存のゆうゆう館利用者の活動機会を適切に確保していくとともに、**高齢者が参加しやすいよう自主事業や多世代交流イベントの充実を図るなど、より多くの高齢者が利用しやすい施設にしていきます。**

プランを決定する際の考え方

■ケア24上荻について①

○ケア24は、高齢者やその家族を支える総合相談窓口であり、ワークショップ参加者等からは、「区立施設内に設置することで認知度が高まる」、「集会施設と併設することで、集会施設の使用後に気軽に立ち寄ることができ、相談がしやすくなる」、「暫定移転先の杉並会館に残すと、その後の移転先が不透明になるため、旧上荻窪会議室等跡地に整備する集会施設に移転させるべき」などの意見をいただきました。一方で、「集会施設と併設する場合、集会施設の面積が減少するだけでなく、ケア24と集会施設は関連がないため、メリットがない」、「杉並会館に残った方がアクセスが良い」といった意見もいただきました。

○高齢者人口が増加する中で、ケア24の充実を図っていくことは、ますます重要となりますが、旧上荻窪会議室等跡地に集会施設とケア24を併設すると、集会施設の面積が減少し、ゆうゆう西荻北館の改築工事期間中における集会施設の部屋数や部屋の面積を十分に確保することが困難になることや、現在、ゆうゆう上荻窪館が杉並会館内で使用しているスペースを活用することで相談スペース等を確保できるなど、ケア24の運営にとってもメリットがあるものと考えられることから、**ケア24上荻は杉並会館内に当面存置することとします。**

プランを決定する際の考え方

■ケア24上萩について②

○なお、西萩北保育園・ゆうゆう西萩北館の改築後については、(仮称)コミュニティふらっと上萩窪やゆうゆう西萩北館の利用状況及びケア24上萩の執務環境や移転先の確保状況等を踏まえた上で、今後の取扱いを別途検討します。

意見交換

(テーマ)

○プランの内容やプランを決定する際の考え方に
対する意見、疑問点等

(20分)

区からのあいさつ